

No.133

2025年

●令和7年 5月31日発行

富士達だより

P2 新年度役員挨拶 (一社)富士建設業協会会長/井止有之氏

P3-4 会員名簿

P5 新所長あいさつ 富士土木事務所 所長/佐藤雅史氏
富士農林事務所 所長/深野智恵子氏

P6-7 新入社員入社おめでとう

P8 入学おめでとう
建退共への加入のおすすめ

P9-11 協会活動報告

日本写真講師協会認定講師
撮影者 芦澤直也
<https://naoya-ashizawa.com/>



●タイトル「新緑とアーチ橋」
撮影場所/神奈川県足柄上郡山北町
(建設中の新東名)

新年度役員挨拶



一般社団法人
富士建設業協会

会長 井上有之

本年度も沼津工業高校及び富岳館高校からのインターンシップ受入れが始まりました。人手不足に喘ぐ我々建設業界にとっては、大変有難いことだと感謝しているところです。しかしながら、気になっている点を一つ挙げさせていただきますと、昨年度は両校から29名のインターンシップを受け入れることができましたが、本年度は16名に留まっております。毎年度多くの会員企業からインターンシップ受入れに手を挙げていただいているのですが、本年度はインターンシップ受入れが叶わない企業が増えそうです。

全国工業高等学校長協会の調べによると、工業系高校卒の求人倍率は10年前には5.79倍だったものが、2024年度には27.20倍にまで上昇しているとのこと。企業が工業系を専攻する生徒の採用を熱望する一方で、生徒や保護者の普通科志向が進み、工業系高校は軒並み定員割れとなっているようです。少子化が進む中でもあり致し方ないこと

だと考えますが、建設業界の近い将来を考えると暗澹たる思いにならざるを得ません。

建設業界を維持していくために我々は何をすれば良いのでしょうか。恐らく、建設業の魅力と役割を高校生だけでなく、小中学生やその親にまで広くアピールしていくことが必要なのでしょう。インターンシップの生徒を待つだけでなく、普通高校にまで範囲を広げて出前授業や職業講話を呼び掛ける。また、小中学生を対象とした出前授業や工事現場見学会などを実施する。そんな積み重ねが必要になってくるのだと思います。そして、個々の企業としては、何よりも若い人たちが働きたいと考えるような労働環境づくり(労働時間、給与、生産性向上、現場環境)を進めていかなければなりません。

富士建設業協会では、本年度におきましても会員企業皆様のご意見を聞きながら、担い手不足対策をはじめ様々な問題に取り組んでいきたいと考えております。会員皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。



副会長
石井 源一



副会長
西尾 武博



副会長
遠藤 祐佐



副会長
小松 寛

創造と信頼

(地区別50音順 42社)



(株)井出建設(株)
代表取締役
井出 恭平



(株)井上建設(株)
代表取締役
井上 有之



(株)遠藤建設(株)
代表取締役
遠藤 夏美



(株)大塚組
代表取締役
大塚 悟



亀井ブルドーザー工事(有)
代表取締役
亀井 邦恵



(株)佐野組
代表取締役
佐野 泰正



(株)三和工務店
代表取締役
遠藤 祐佐



(株)田中組
代表取締役
田中 勇毅



ダイエー工業(株)
代表取締役
飯田 昌昇



中野建設(株)
代表取締役
加藤 隆文



(株)中村組
代表取締役
池田 光芳



(株)西尾組
代表取締役
西尾 武博



(株)藤島組
代表取締役
遠藤 公芸



平和建設(株)
代表取締役
久保田 貴久



松本工業(株)
代表取締役
佐藤 義幸



(株)松山組
代表取締役
松山 國成



山口土建(株)
代表取締役
山口 好美



和田建設(株)
代表取締役
鈴木 美奈子



(株)渡辺組
代表取締役
渡邊 育雄



渡辺ブルドーザー工事(株)
代表取締役
渡辺 敏弘





(株)青木組
代表取締役
青木 雅計



(株)イシカワ
代表取締役
石川 亨



(株)増富
代表取締役
増田 隆俊



永將建設(株)
代表取締役
永田 真一



(株)大石組
代表取締役
清 哲也



(株)加瀬澤組
代表取締役
加瀬澤 理



(株)川俣組
代表取締役
佐野 孝



(株)クボダイ
代表取締役
佐野 久夫



(株)小松建設
代表取締役
小松 實



佐野藤建設(株)
代表取締役
佐野 哲也



(株)鈴木組
代表取締役
鈴木 統太



拓進建設(株)
代表取締役
佐野 裕康



地成建設(株)
代表取締役
望月 敏雄



(有)坪井組
代表取締役
坪井 孝文



(株)坪井土建
代表取締役
坪井 多恵子



(株)三与建設
代表取締役
三尾 祐一



(株)村野
代表取締役
村野 文政



(株)森下建設
代表取締役
森下 孝一



(有)渡邊建設
代表取締役
渡邊 定賢



(株)藁科組
代表取締役
藁科 信之介

広報誌【ふじ建だより】2023年129号以降変更となった代表者

(株)井出組
代表取締役
井出 勇次

井出徳建設(株)
代表取締役
井出 恭平

(株)大塚組
代表取締役
大塚 悟

(株)佐野組
代表取締役
佐野 泰正

(株)中村組
代表取締役
池田 光芳

永將建設(株)
代表取締役
永田 真一



新 所 長 挨 拶



富士土木事務所
所長 佐藤 雅史

富士建設業協会並びに会員の皆様方におかれましては、日頃より本県の建設行政の推進に格別の御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

私は、富士宮市出身で富士市の高校に通いましたが、生まれ育った地域を所管する富士土木事務所に配属されたのは今回が初めてです。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、昨今の社会基盤整備を取り巻く情勢については、年々予算が厳しくなる反面、インフラの老朽化に対する「予防保全」のメンテナンスや、大規模地震や風水害などに対する国土強靱化の取り組みなど、その重要性は増しております。

このため、富士土木事務所では、社会基盤整備を通じて地域の安全安心な暮らしと社会経済活動に貢献することで、「幸福度日本一の静岡県」を実現するべく、各種インフラの整備と管理に取り組んでまいります。

貴協会の皆様方におかれましては、今後も「いっしょに、未来の地域づくり」を目指して、社会基盤の推進に御協力いただけますようお願い申し上げます。

結びに、貴協会のさらなる御発展と会員の皆様の御健勝を祈念申し上げまして、新任のご挨拶とさせていただきます。



富士農林事務所
所長 深野 智恵子

富士建設業協会並びに会員の皆様におかれましては、日頃から本県の農林業行政の推進に格別の御理解と御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

霊峰「富士山」と裾野にひろがる「茶園・牧草地・水田・人工林」など、人と自然が作り出す景観は、地域の農林業に関わる方々の営みの賜物です。そして、その基礎となっているのは、建設業の皆様の手で行われた、数多くの基盤整備事業であり、地域の産業を支えています。

これからも、農業では、優良農地の維持と生産性の向上を図るとともに、農地の荒廃未然防止と利活用を促進するため、農地の集約化、ほ場改良、さらには農道・集落道・水利施設などの基盤整備を進めてまいります。また、林業では、木材生産の効率化等を図るための林道等の整備や森林管理を実施して参ります。加えて、近年の線状降水帯等による激甚化する自然災害から地域を守るため、大倉川農地防災ダムの適切な運用と、山地災害を防止する治山事業を実施いたします。

富士農林事務所では、将来にわたり、これらの事業を通じて、美しく活力ある農山村の創造と地域の振興に取り組んでまいりますので、皆様の一層の御協力と御支援をお願いいたします。

最後に、貴協会の益々の御発展と、会員の皆様の御健勝を祈念し、新任の挨拶とさせていただきます。

新任のごあいさつ



株建通新聞社静岡支社沼津支局
佐藤 巧海

富士建設業協会の皆さまには、日頃より建通新聞・静岡の活動に対しまして、ご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

4月から静岡県の東部地区を取材する沼津支局の配属となり、富士地域を担当しております。3月まで静岡支局に在籍しておりましたが、2025年度から富士山の雄大な景色を背に活動に取り組むことができ、喜びを感じています。

多発する自然災害への迅速対応や、美しい景観づくり、社会資本の適切な維持管理・更新など建設産業の果たす役割は大きくなっていますが、その中心を担うのは地域に根差す建設会社だということを、入社して4年目ではございますが、取材活動を通じて実感しております。

富士地域の番記者として、地域密着を堅持するとともに、正確迅速な報道に専心し、富士建設業協会の魅力発信に貢献してまいります。これからもご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

最後に、貴協会のさらなる発展と、会員の皆さまのご健勝を心より祈念し、新任のあいさつとさせていただきます。

協会活動報告

建災防富士分会現場視察研修会

11月28日に、日本車輛製造が工事を担当する、静岡バイパス高架橋工事(庵原高架橋)の現場で、視察研修しました。
当日は、国土交通省静岡国道事務所工務課の栗田尚希建設専門官、日本車輛製造輸機・インフラ本部工事部工事二課の和田昌浩主幹から工事概要などについて説明を受け、現場の安全対策や取り組みなどについて学びました。



安全パトロール

【12月】

12月3日に、田中組、中村組、井上建設、藤島組の工事現場で安全パトロールを実施しました。

来賓として、富士労働基準監督署安全衛生課、静岡県富士土木事務所企画検査課、県田子の浦港管理事務所、富士市上下水道部下水道施設維持課、富士宮市都市総務部工事検査課の職員方に参加していただきました。

当日は2班に分かれ、4現場で工事概要や日程・作業内容をチェックし、適切に工事が進められているか確認しました。



【2月】

2月4日に、小松建設、安藤ハザマの工事現場で安全パトロールを実施しました。

来賓として、富士労働基準監督署安全衛生課、富士市産業交流部農政課と林政課、富士宮市都市整備部建築住宅課の職員方に参加していただきました。

当日は2班に分かれ、富士山千束第7砂防堰堤工事と富士ロジックHD田子の浦港倉庫新築工事の2現場で工事概要や日程・作業内容などをチェックし、適切に工事が進められているか確認しました。



【4月】

4月9日、安全パトロールを実施しました。当日は、協会員をはじめ、来賓として富士土木事務所企画検査課の木下和昭検査監と富士市役所建設総務課の石川泰主幹、同市道路整備課の三井崇志主査に参加していただきました。

2班に分かれ、井出組が施工する「フジックストアカイ本社工場新築工事」と、石井組が工事を進める「富士中央配水池ポンプ棟建築工事」の現場で点検しました。工事概要・日程・作業内容のチェックや、施工現場・事務所や安全掲示板を確認していただき、適切な安全対策について指導を受けました。



建設業のみなさんへ

建退共に入ろう!

従業員をまもる。会社を強くする。

建設現場で働く労働者のための国の退職金制度です。

協会が資金源! 新卒加入で一部免除! 電子申請方式なら手続きもカンタン! 一人限らず加入できる!

詳しい情報はこちら! 建退共

建設業退職金共済制度 建設業退職金共済本部 TEL 0120-006-175

建設事業主のみなさま

建退共の掛金が電子申請で納付可能になりました!

①電子申請方式とは

証紙に代わる「退職金ポイント」という電子ポイントを事前に購入し、被共済者の就労日数を登録した「就労実績ファイル」により、個々の被共済者の掛金として充当するものです

②電子申請方式の申し込み方法は

電子申請方式申込書をダウンロードし建退共静岡県支部に提出

電子申請方式のメリット

- ①金融機関で証紙を購入する必要はありません
- ②手帳への証紙貼付や下請への現物交付が不要
- ③共済証紙受払簿の作成・管理が不要
- ④新規手帳申込等がオンライン申請できます
- ⑤加入履行証明願の作成が負担軽減
- ⑥発注機関等への提出・提示書類が軽減されます

【電子申請方式の操作方法についてのお問合せ先】 TEL 0120-006-175

建退共静岡県支部 〒420-0851 静岡市葵区黒金町11-7-12階 TEL 054-255-6846

協会活動報告

星陵高校出前授業

星陵高校の普通科1年生61人を対象に出前授業を行い、建設業の魅力や仕事のやりがいなどを発信しました。若手技術者として坪井組の長谷川尚氏と井上建設の山田幹太氏が登壇し、入社経緯や業務内容、1日のスケジュール、仕事のやりがいなど建設業について語り、生徒たちの興味関心を高めました。

最後には佐藤義幸労務委員長が、自身が代表取締役を務める松本工業でのSDGsの取り組み事例として木造社屋を紹介しました。



安全祈願祭

1月9日に米之宮浅間神社で、建設業労働災害防止協会静岡県支部富士分会と富士市建設業組合(遠藤典生組合長)合同の安全祈願祭を開きました。

神前に玉串を奉奠し、1年の無事故無災害を祈るとともに安全活動を推進していくことを誓いました。



令和7年新年互礼会

1月16日に富士市内で令和7年新年互礼会を開催しました。

井上会長は、「働き方改革や資機材の高騰などによるコストアップのペースに追いついていくことが難しい現状。これらのコストアップに合わせて事業予算の拡大をお願いしたい」と要望。また、1月8日に静岡県富士土木事務所と行った星陵高校での出前授業に触れ、「多くの生徒から建設業の関心が高まり、イメージが大きく変わったとの声をいただいた。今後も建設業の魅力発信、若者の入職促進に向け、さまざまな方々のご協力いただきながら活動に取り組みたい」と意気込みました。

当日は来賓として国会議員や静岡県議会議員、関係官庁の幹部職員らが出席され、祝辞を述べました。



協会活動報告

無人化施工バックホウ見学会・操作訓練

2月19日から2日間、国土交通省富士砂防事務所が主催する「無人化施工バックホウ見学会」に参加しました。協会員から、西尾組、中村組、遠藤建設、井出徳建設の4社9名が参加し、簡易遠隔操縦装置「ロボQS」を装着したバックホウの遠隔操縦などを体験しました。

参加者は会場内に仮置きされ、ロボQSが装着されたバックホウを、遠隔から目視したり、対策本部車内のモニターを見たりしながら、アームの伸縮、バケットの上げ下げ、旋回、掘削などの動きを操縦しました。

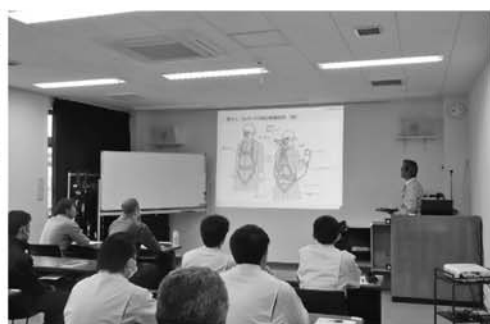
また、当日の見学会に向けて富士砂防事務所の協力のもと、1月23日から2月20日までの約1カ月間、重機オペレーター等の有資格者を対象に、「ロボQS」を装着したバックホウの操作訓練し、技術を高めました。



建防災富士分会講習会(4月フルハーネス講習会)

4月23日に、富士建設業会館で「フルハーネス型安全帯使用作業特別教育(全コース)」を開催し、25人(うち建防災会員12人、会員外13人)が参加しました。

講師は中村組の谷吉浩氏が担当し、作業や墜落防止用器具、関係法令、労働災害防止に関する知識などの学科を学んだ他、実技としてフルハーネス型安全帯の使用方法について講義を受けました。



令和7年度定時総会

5月19日に富士市内で、令和7年度の定時総会を開催しました。

井上会長は、「魅力あふれる建設業界に向けて、国や県などの意見交換会を通して質問、要望していく」と話すとともに、協会員に対して、引き続き活動への協力をお願いしました。

協議事項では、令和7年度事業計画案、収支予算案などを承認されました。事業計画には、▽構造改革の推進▽ICT施工・DX化対応▽雇用改善施策の推進▽安全対策▽建設資材対策▽奉仕活動などを盛り込みました。

また、関連団体の富士地区建設事業協同組合、建設業労働災害防止協会静岡県支部富士分会の総会も行い、全ての議案を承認しました。



令和7（2025）年度富士分会開催講習会予定表

各講習予約開始日：3月10日（月） 受講ご希望の場合は電話またはメールにて必ずご予約ください。（予約なしの受講不可）

作成日 2025年2月27日

No.	講習会名	開催日	申込書受付期間 (事前予約必須)	申込書受付締切日 受付時間	定員	受講料 (テキスト代込み)
1	フルハーネス型安全帯特別教育 (全コース)	4月16日（水）	4月1日（火） ～ 4月4日（金）	4月4日（金） (祝日を除く) 月～金 9:00～16:00	20	会員 9,900 会員外 10,835
2	フルハーネス型安全帯特別教育 (全コース)	4月23日（水）	4月7日（月） ～ 4月11日（金）	4月11日（金） (祝日を除く) 月～金 9:00～16:00	20	会員 9,900 会員外 10,835
3	足場の組立て等特別教育 (6時間)	5月28日（水）	5月7日（水） ～ 5月16日（金）	5月16日（金） (祝日を除く) 月～金 9:00～16:00	30	会員 9,900 会員外 10,835
4	自由研削といし（グラインダ） 作業特別教育	6月17日（火）	5月19日（月） ～ 5月30日（金）	5月30日（金） (祝日を除く) 月～金 9:00～16:00	30	会員 9,735 会員外 9,735
5	地山・土止め 支保工作業主任者	9月24日（水） ～ 26日（金）	8月25日（月） ～ 9月5日（金）	9月5日（金） (祝日を除く) 月～金 9:00～16:00	30	会員 17,370 会員外 18,370
6	足場の組立て等 作業主任者	11月11日（火） ～ 12日（水）	10月14日（火） ～ 10月24日（金）	10月24日（金） (祝日を除く) 月～金 9:00～16:00	30	会員 13,025 会員外 14,025
その他	足場の組立て等作業主任者能力向上	令和7年度開催未定				
	職長・安全衛生責任者教育	令和7年度開催未定				

※各講習ご案内・申込書は、申込開始1週間前までに予約いただいた方にお送りいたします。

※各講習の最低開講人数に満たない場合、開催しない場合があります。

※受講の際、発熱・咳など体調不良の方は受講をお断りする場合があります。マスク着用はお願いします。

※受講料・テキスト代は、料金改定により変更になる場合があります。

【講習予約 お問い合わせ先】

建災防富士分会（富士建設業会館内）

(TEL) 0545-61-2838

(FAX) 0545-64-5228

詳細は、事務局へお問合せ頂くか、ホームページをご覧ください。（問合受付時間 8:30～16:30）

(Mail) f.saibou@fujikenkyo.or.jp

(URL) <http://www.fujikenkyo.or.jp/>

近隣の分会にて開催の講習会については、下記に直接お問い合わせください。

分会名	電話番号
沼津分会	055-943-6726
三島分会	055-975-0332
静岡分会	054-287-6288

自宅でも、現場でもネット環境さえあれば

動画でラクラク、CPDS6ユニットが無料でとれる!!

建通新聞社は、建設関連の技術や工法が動画で分かる「建設技術・工法動画サイト」を運営しています。技術・工法の情報や資料の収集だけでなく、メインのコンテンツである「CPDS認定動画」を視聴すれば、無料でCPDSの単位（最大6ユニット）が取得できます。

サイト内のサービスはすべて無料（会員限定サービスを含む）で利用できます。

四の特長

- ①動画で一般社団法人全国土木施工管理技士会連合会が認定するCPDS（継続学習）プログラムが受けられます。
- ②動画で技術・工法の情報を詳しく知ることができます。
- ③パンフレットがダウンロードできます。
- ④技術情報の資料請求、お問い合わせができます。

ぜひ、技術・工法の情報収集や継続学習の場として利用してください。

検索は **建通 動画** で **(株)建通新聞社**



無料の動画でCPDSがとれる
「建設技術・工法動画サイト」

<https://cpds.kentsu.co.jp>

株式会社 建通新聞社

第125回（一社）富士建設業協会親睦ゴルフコンペ成績表

令和6年12月4日 於 朝霧ジャンボリーGC

RANK	氏名	甲斐	駿河	HDGP	NET
優勝	渡辺 敏弘	39	43	7	75
準優勝	渡邊 育雄	42	42	6	78
3位	井上 有之	45	44	10	79



編集後記

令和7年度の定時総会も無事に終わり新たに理事役員が発表されました。また富士土木、富士農林事務所の新所長の発表など、新年度の話題の記事が多くありました。私たち土木技術者は、国土強靱化に資するインフラ整備を通じて、災害に強いまちを作る意識をもち自分の仕事に誇りをもって新たな技術者の開拓に励みたいのです。

◆発行人◆（一社）富士建設業協会 広報委員会
☎(0545)61-2838 <http://www.fujikenkyo.or.jp/>

広報委員メンバー

- 担当副会長…遠藤祐佐
- 委員…山口好美
- 委員…石井 肇
- 委員長…三尾祐一
- 委員…佐藤義幸
- 委員…鈴木統太
- 副委員長…鈴木美奈子
- 委員…森下孝一
- 委員…佐藤巧海

（一社）静岡県建設業協会
広報誌「けんせつ静岡」～是非ご覧下さい～
<http://www.sizkk-net.or.jp/>



「どぼくってオモシロイ！」を静岡県から。